

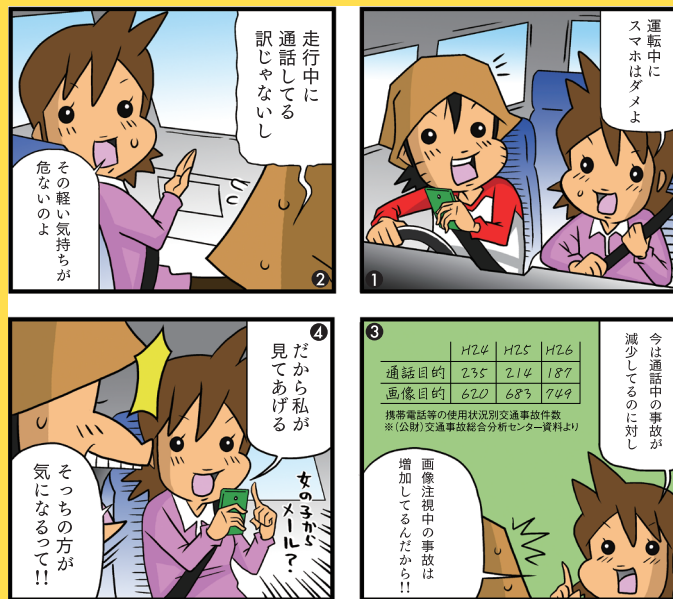
SJクイズ ?

[問題編]

Q1

平成27年中の車両等の交通法令取締件数(705万5982件)を違反態様別にみると、携帯電話使用による取締件数は次のうちどれでしょう？

- ①約20万件 ②約50万件 ③約100万件



Q2

携帯電話等使用による交通事故発生場所(平成19～26年合計)で最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①単路(直線) ②交差点付近 ③信号交差点

Q3

携帯電話使用等により交通事故を起こした四輪運転者(平成19～26年合計)を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ①20～29歳 ②30～39歳 ③40～49歳

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q1 解答 ③約100万件

<解説>

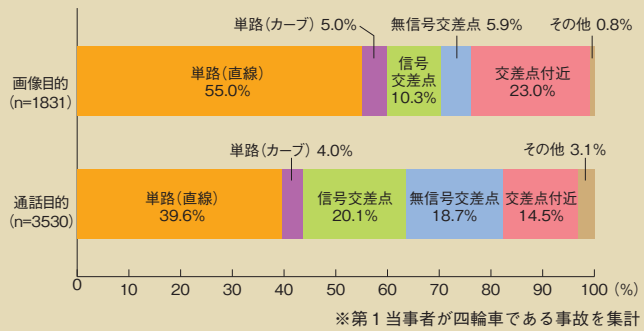
平成27年中の車両等の交通法令取締件数（705万5982件）を違反態様別にみると、携帯電話等使用による取締件数は103万5226件だった。これは最高速度違反、一時停止違反に次いで3番目に多い。運転中の携帯電話等の使用は道路交通法で禁止されている。運転中には使用せず、安全な場所にクルマやバイクを停止させてから使用しなければならない。

Q2 解答 ①単路（直線）

<解説>

携帯電話等使用による交通事故発生場所（平成19～26年合計）で最も多いのは、単路（直線）である。使用状況別にみると、画像目的の使用では単路が55.0%を占めている（通話目的使用は39.6%）。携帯電話等での画像の注視は脇見運転となる。また、通話であっても注意が散漫となり、前方不注意となることが考えられる。このように交通事故の要因となりかねないので、運転者はどのような状況でも携帯電話等を使用すべきではない。

●携帯電話等使用状況別・交通事故発生場所
（平成19～26年合計・構成率）

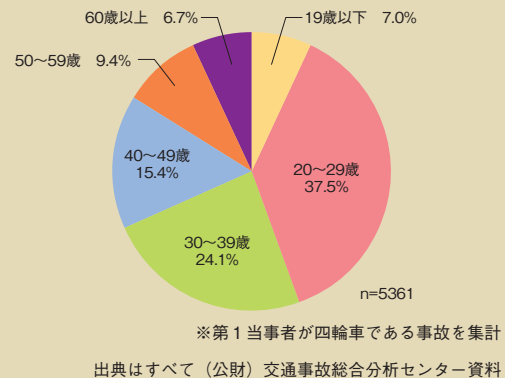


Q3 解答 ①20～29歳

<解説>

携帯電話等使用により交通事故を起こした四輪運転者（平成19～26年合計）を年齢層別にみると、20～29歳（37.5%）が最も多く、30～39歳（24.1%）と続き、若い年代の割合が高いことがわかる。若年層の運転者に携帯電話等使用による危険性を理解してもらうための啓発が必要である。

●携帯電話等使用により交通事故を起こした四輪運転者の年齢層別割合（平成19～26年合計・構成率）



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736